

女性現実研究所 資料『女性現実物語』

性芸術・性文化調査研究報告コホート (ゾーン)

ヌード芸術

(アートとアダルトのはざまに見る女性心理)

まるで物語のような女性の現実に寄せて

初版：2003年11月5日

最終更新：2019年9月29日

～ 著者 ～

◆女性現実研究所 代表スタッフ (代表ウォッチャー、男女)

～ 編者 (女性からのご相談、ご投稿、情報提供の受付および本著の編集) ～

◆女性現実研究所 幹部女性スタッフ (幹部女性ウォッチャー) 一同

～ ご協力者 (代表および幹部女性スタッフ一同より厚く御礼申し上げます) ～

◆女性現実研究所 一般女性スタッフ (一般女性ウォッチャー) の皆様

(社会人女性スタッフ、主婦スタッフ、女子大学生スタッフ、女子高校生スタッフ)

◆女性現実研究所にご相談、ご投稿、情報提供して下さった全ての女性の皆様

(本著では、女性ご本人から公表のご希望やご許可を頂いた事例のみを取り上げておりますが、全ての女性にメール返信や面談などの個別対応を行っております。)

## 目次

1. ヌードとは何か
  - 1) 美術大学でのヌードデッサンについての悩み相談
  - 2) 美術系予備校生の女性教師
  - 3) ヌードの仕事がしたい
  - 4) 美大における男性器・女性器の祭
2. 女体というキャンバス
  - 1) ボディーペイント
  - 2) 金粉ショーに出ています
3. 昭和時代のエロティカ
  - 1) カストリ
4. 平成時代のエロティカ
  - 1) お菓子系

## 編集中

## 1.ヌードとは何か

### 1) 美術大学でのヌードデッサンについての悩み相談

「美大に通う学生です。ヌードデッサンについてのご相談です。私の大学ではヌードデッサンも行われますが、学外の専門のモデル事務所などから派遣された女性がつとめます。それだけならよいのですが、私自身がその授業の担当教授(男性)から個人的に依頼され、授業外で教授のヌードモデルをつとめています。教授には、自分たち学生がデッサンしているモデルの女性の方々によいのではないかと懇願したのですが、どうしても私でないとだめと言われて、つとめています。ほかの友人は私のそういうバイトを知りません。バイトの内容がそういうものだからか、私の成績は私の実際の能力よりも良く付けていただいていると感じます。自分の体にアート性があるという自信にもつながっています。ただ、今後女性として普通に卒業し、仕事をし、結婚していきたい願望があることも考えると、今のような関係を断ち切るかどうか悩んでいます。もしほかの美大の学生からそのようなご相談が来ていましたら、同じような学生の意見を聞いてみたいと思っています。」

この女性は現在、女現研の一般スタッフとして活動中。

### 2) 美術系予備校生の女性教師

「目標としている美大を目指して、美術系の予備校に通っている者です。数か月ほど前から、ある女性の先生から、体をさわられたり、写真をとられたり、デッサンされたりするようになりました。美大に行ったら女は脱がなくなっちゃいけなくなるからヌードの練習が必要、という理由だそうです。とても悩んでおり、誰にも言えていません。その女性の先生は、女性のことが好きな人だということはそれなりの割合の予備校生たちが知っている状況ですが、中でもわたしと数人がターゲットになっている気がします。今は、トイレにカメラが仕掛けられていないかなど、日々確認していますが、夜寝るときも先生の声がした気がして大汗をかくようなひどい状態にいます。それなのに、体を褒められることは嬉しく思ってしまう、その瞬間はもっとわたしの体を描いてほしいと思ってしまう。心と体が離れていっているのだと思います。もし対応可能ならでまったくかまいませんので、アドバイスいただけたらありがたいと思っています。」

この女性は現在、女現研の一般スタッフとして活動中。

### 3) ヌードの仕事がしたい

「わたしは女子高生（18 歳）です。アートとアダルトの違いについての相談があります。社会では、アダルトはいけないもの、アートはよいものということになっていて、だからアダルトは子供たちには隠されているのだと思います。

ただ、調べれば調べるほど、アートとアダルトの違いがよくわからなくなってきます。性交や性行為をするアート（実際に性器を合体する映画など）もあれば、性交や性行為をしないアダルト（女性のヌードや胸、性器、肛門を映しただけのもの）もあります。キスについては、普通の女優さんでも映画や舞台で平気で行っているし、実際に性器を合体する映画に出た女優さんは「度胸がある」と褒められて、名女優になっています。そのような作品がアダルト扱いでないのに、なぜか、キスもしない、病気も移らない、ただのヌード、胸や性器、肛門の写真はアダルト扱いですよ。

そのことについて、わたしはとても不満に思っています。わたしは、岡島幸人氏など、男性ヌードモデルもデッサンしてきましたが、教室の中で「男性ヌードモデル」対「大勢のデッサン女性」というときでも、アート扱いです。

わたしは、社会がアダルト OK と決めている 18 歳になったので、ヌードでのビデオ出演やアート出演（ヌードデッサンモデル可）を考えており、今いろいろと調べています。ただ、わたし自身は単にわたしのヌードで活動したいと思っており、アートとかアダルトとかいうものが自分の中にありません。同じわたしの体を見て、勝手に人がアートとかアダルトとかを決めているにすぎないと思います。

でも、社会的なことを考え、アダルトビデオなどではなく、あくまでもアートとして出たいという言い方をしようと考えています。もちろん、性交や性行為などはしないタイプのものへの出演を考えています。でも、わたしとしては、ヌードそのものの価値を見つめていきたいです。

基本的にわたしは、見られたり描かれたりしてイヤな体の場所はありません。もしわたしのヌードが世に出て、そこにアダルト専用の表示があったり、それがアダルトコーナーに置かれたりするのがイヤだという意味です。とにかく、そういう仕事をしていけたらと思っています。」

この女性は現在、女現研の一般スタッフとして活動中。

#### 4) 美大における男性器・女性器の祭

分野がやや異なるため、性犯罪・性教育・性学習コホートへ移動しました。これは、女子美術大学の学生による、武蔵野美術大学の学園祭の性的内容への疑問になっています。ご覧下さい。

以下、編集中。